

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2004-100983(P2004-100983A)

【公開日】平成16年4月2日(2004.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-013

【出願番号】特願2002-259854(P2002-259854)

【国際特許分類第7版】

F 2 5 B 9/14

F 0 2 G 1/053

【F I】

F 2 5 B 9/14 5 2 0 A

F 2 5 B 9/14 5 1 0 B

F 0 2 G 1/053 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月11日(2005.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シリンダの内側を往復運動するピストンと、前記シリンダの内側において前記ピストンに對向し、前記ピストンの動きによって圧縮・膨張する作動媒体の動きにより駆動されるディスプレーサと、を備え、前記ピストンと前記ディスプレーサとの間に第1作動空間を、前記ディスプレーサから見て第1作動空間とは反対側に第2作動空間を、前記ピストンから見て第1作動空間とは反対側に背面空間を、有するように密閉して形成されたスターリング機関において、

前記ピストンに設けられ、第1作動空間とピストン外側面を結ぶ第1流路と、前記シリンダに設けられ、前記背面空間とシリンダ内側面を結ぶ第2流路と、を有し、第1、第2流路を前記ピストンの初期の往復運動中心位置よりも前記背面空間側で連通させて成ることを特徴とするスターリング機関。

【請求項2】

前記ピストンの外周面に設けられた第1流路の開口部は、前記ピストンの往復運動方向に複数形成されていることを特徴とする請求項1に記載のスターリング機関。

【請求項3】

前記シリンダの内周面に設けられた第2流路の開口部は、前記ピストンの往復運動方向に複数形成されていることを特徴とする請求項1に記載のスターリング機関。